

# 第33回全国保健師教育機関協議会 夏季研修プログラム

## テーマ:公衆衛生看護の躍進

開催日:平成30年8月19日(日)~8月20日(月)

場 所:新大阪丸ビル別館(大阪市東淀川区東中島1-18-22)

参加費:会員校;5,000円、非会員校;15,000円、現任保健師(無料)

### 【1日目】平成30年8月19日(日)9:20~17:00

09:00~09:20	受付	
09:20~09:30	開会・オリエンテーション	全国保健師教育機関協議会 研修委員長 山口 忍 理事
[10-1号室]	開会挨拶	全国保健師教育機関協議会 副会長 荒木田美香子 理事
09:30~11:00	講義「教育課程」	座長:岸 恵美子氏(東邦大学 教授) 講師:七木田 文彦氏(埼玉大学教育学部学校保健学講座 准教授) (一社)日本学校保健学会事務局長 ) 内容:・教育課程の概念と構造 ・教育課程(カリキュラム)編成の原理 ・内容選択の基準、子どもの発達とカリキュラム ・カリキュラム改革の動向
11:15~12:30	講義「教育方法」	座長:岩本 里織氏(徳島大学大学院 教授) 講師:川越 明日香氏(熊本大学 大学教育統括管理運営機構 准教授) 内容:・授業設計と教育評価の基本 ・深い学修に向けたアクティブラーニング
<休憩>		
13:30~17:00		
【第一分科会】 教育体制委員会 企画 [5-1号室] 定員 60名	テーマ:上乗せ保健師教育課程に向けたプロセスの実際 座長:松尾 和枝氏(福岡女学院看護大学) 和泉 京子氏(教育体制委員会委員長、武庫川女子大学) 発表者:麻原 きよみ氏(聖路加国際大学大学院) 久佐賀 眞理氏(長崎県立大学大学院) 岡本 玲子氏(大阪大学大学院)	内容:1. 趣旨および上乗せ設置申請の概説 2. 上乗せの保健師教育課程に向けたプロセスの実際 3. グループ相談会
【第二分科会】 保健師基礎教育 調査委員会(特別 プロジェクト)企画 [10-1A号室] 定員 100名	テーマ:保健師教育の実際とこれからの課題 ー保健師基礎教育調査の結果から見えてきたものー 座長:岸 恵美子氏(保健師基礎教育調査委員会委員長、東邦大学) (内容等は調整中)	
【第三分科会】 研修委員会 企画 [10-1B号室] 定員 100名	テーマ:ケースメソッドをとおしてクレーム対応を考えるー教員の基本姿勢・資質の向上ー 座長:深江 久代氏(静岡県立大学 教授) 講師:小池 智子氏(慶応義塾大学看護医療学部/大学院健康マネジメント研究科准教授) 保健師のスキルアップを目指す会(鈴木知代、伊藤純子、杉山眞澄、山本愛)	内容:公衆衛生看護管理能力向上につながるクレーム対応 (ケースメソッド法を活用して) 1. 公衆衛生看護管理能力向上につながるクレーム対応 2. ケースメソッド法とは 3. ケースメソッド法を活用してのクレーム対応の検討

**【2日目】平成30年8月20日(月) 9:00~12:00**

08:30~09:00 受付

09:00~12:00

**【第四分科会】** テーマ:「公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム 2017(略称:PHNE コアカリ 2017)の活用ー公衆衛生看護の対象と健康課題、支援方法を事例で学ぶ」  
公衆衛生看護学 座長:野村美千江氏(公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム推進委員長、愛媛県立医療技術大学)  
教育モデル・コ  
ア・カリキュラム推  
進委員会企画  
内容:1. 話題提供 「PHNE コアカリ 2017」の概要と公衆衛生看護の対象理解  
[ 5-1 号室] 2. 対象と健康課題、支援方法を考える事例の提示  
定員 50名 3. 事例を用いたグループワーク、全体共有

**【第五分科会】** テーマ: 教育課程委員会報告・ワークショップ  
教育課程委員会 ~母子保健活動における公衆衛生看護技術を考える~  
企画 座長:大木幸子氏(教育課程委員会委員長、杏林大学)  
[ 1-1 号室] 内容:1. 話題提供 母子保健活動における公衆衛生看護技術の検討過程と概要  
定員 50名 2. 母子保健活動における公衆衛生看護技術項目についての  
意見交換(グループワーク)

**【第六分科会】** テーマ:保健師として学ぶ質的研究ー公衆衛生看護の研究と実践に活かすためにー  
研修委員会 座長:岡本玲子氏(大阪大学大学院 教授)  
企画 講師:大谷 尚氏(名古屋大学大学院 教授)  
[ 3-5 号室] (内容等は調整中)  
定員 50名

12:00 閉会